



2020年12月期  
第1四半期（1～3月）  
決算概要

2020年 4月30日

株式会社 大塚商会

# 2020年第1四半期 業績の概要

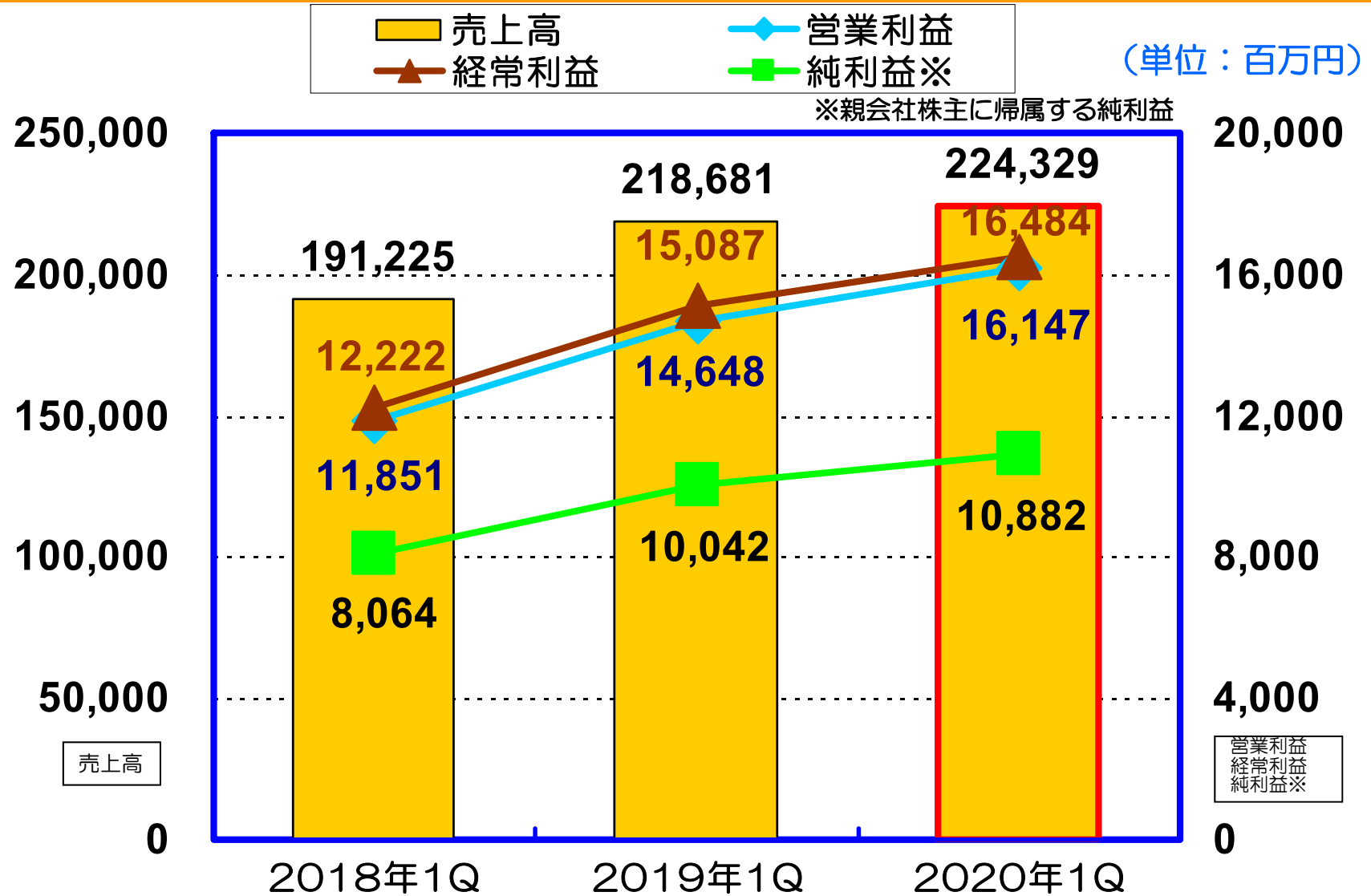
(単位：百万円)

	連 結		単 体	
	金 額	増減率	金 額	増減率
売 上 高	<b>224,329</b>	<b>+2.6%</b>	<b>202,009</b>	<b>+2.3%</b>
営 業 利 益	<b>16,147</b>	<b>+10.2%</b>	<b>14,123</b>	<b>+10.4%</b>
経 常 利 益	<b>16,484</b>	<b>+9.3%</b>	<b>15,606</b>	<b>+10.9%</b>
純 利 益 ※	<b>10,882</b>	<b>+8.4%</b>	<b>10,825</b>	<b>+10.9%</b>

※親会社株主に帰属する純利益

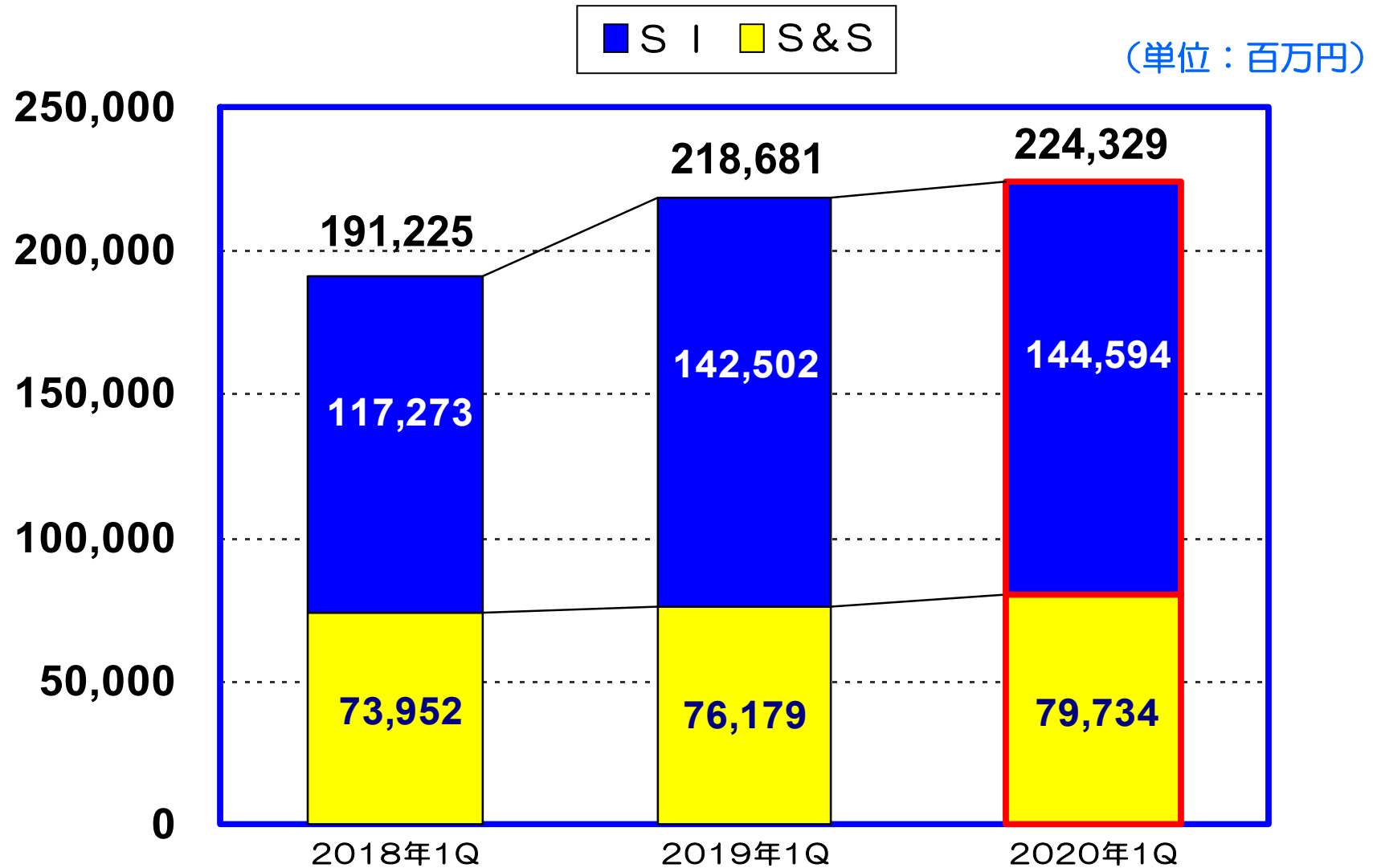
連結

# 売上高・利益の状況



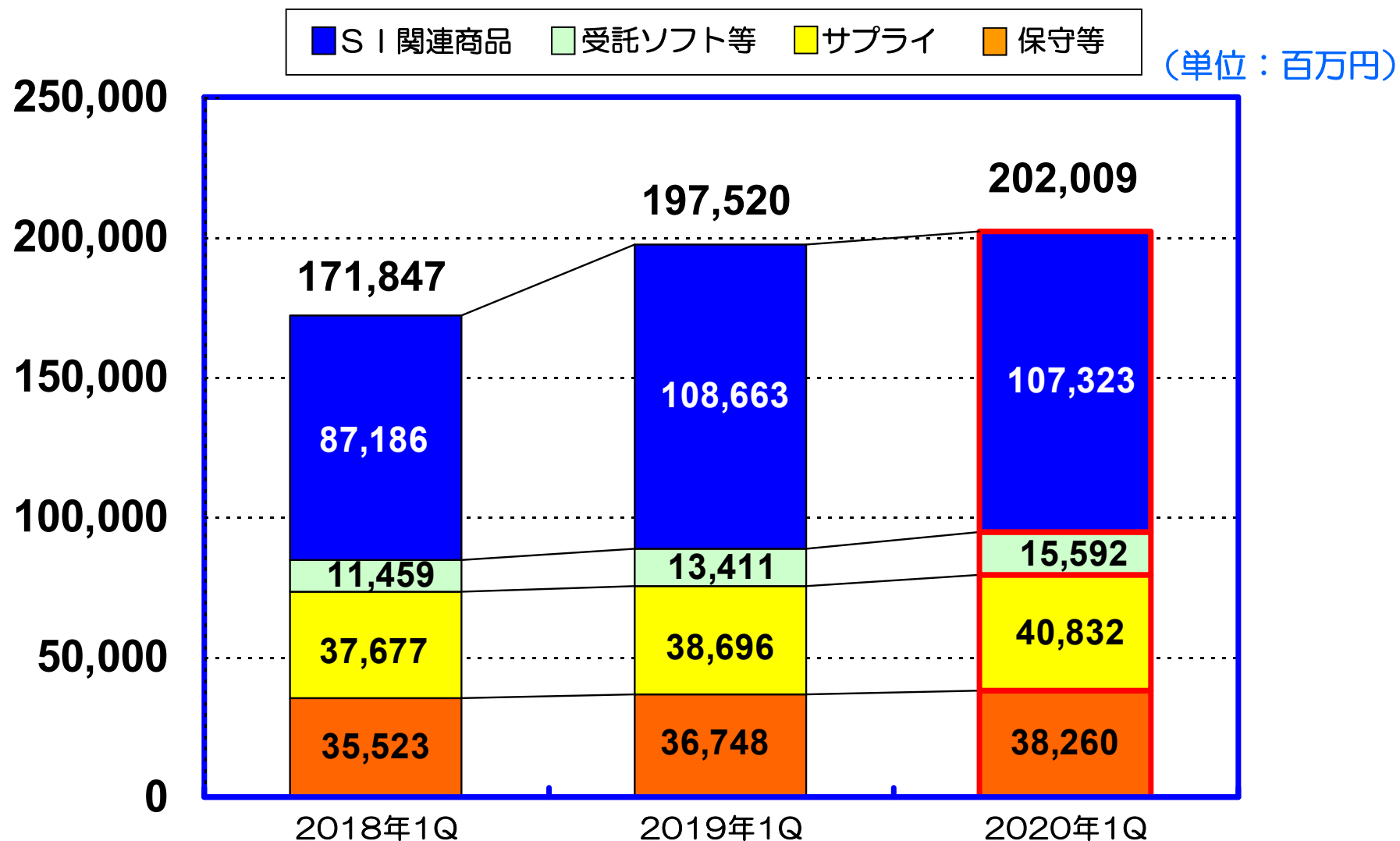
連結

# セグメント別売上高



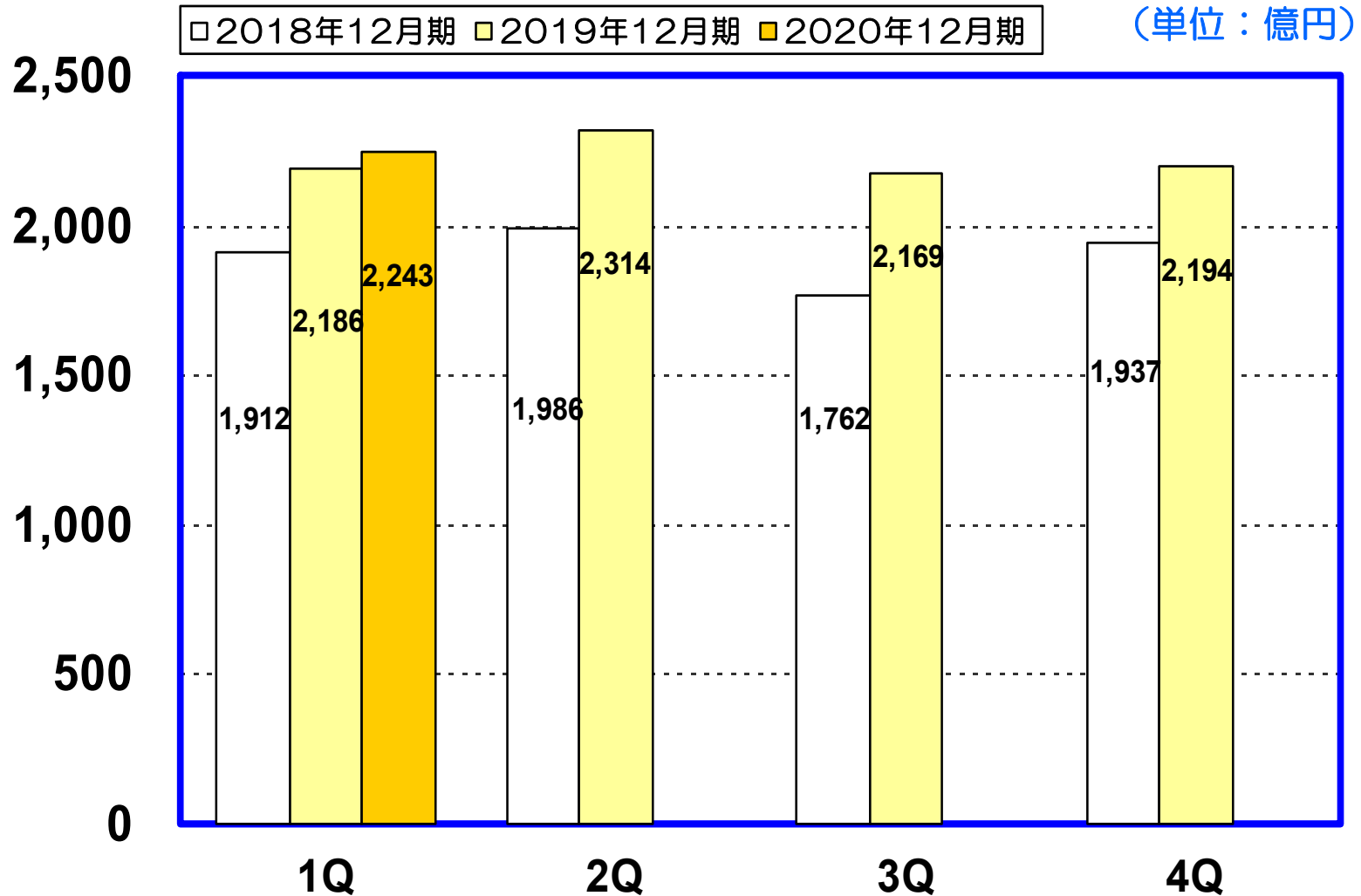
単体

# 詳細セグメント別売上高



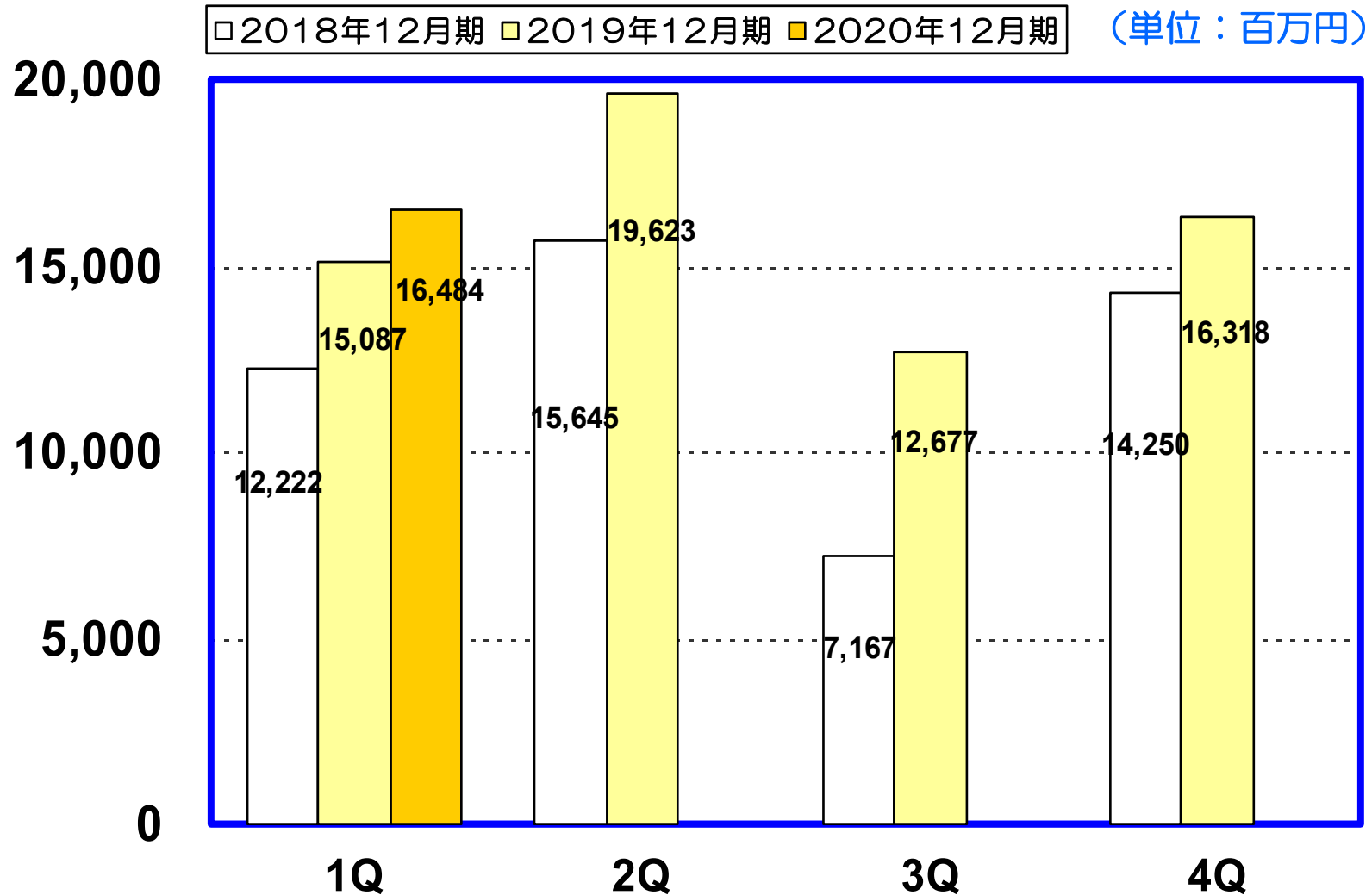
連結

# 売上高の四半期推移





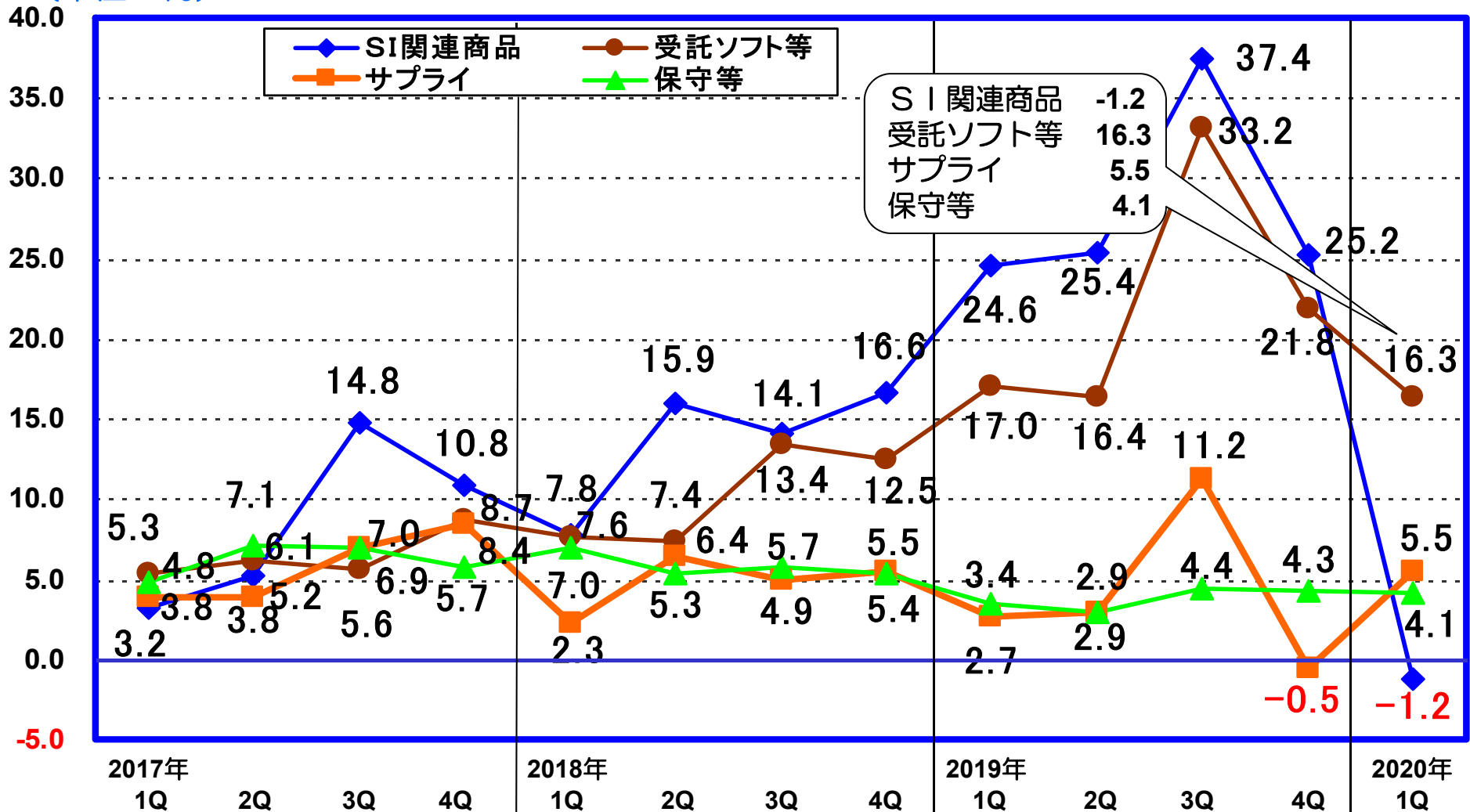
# 經常利益の四半期推移



単体

# 詳細セグメント別 売上高増減率の四半期推移

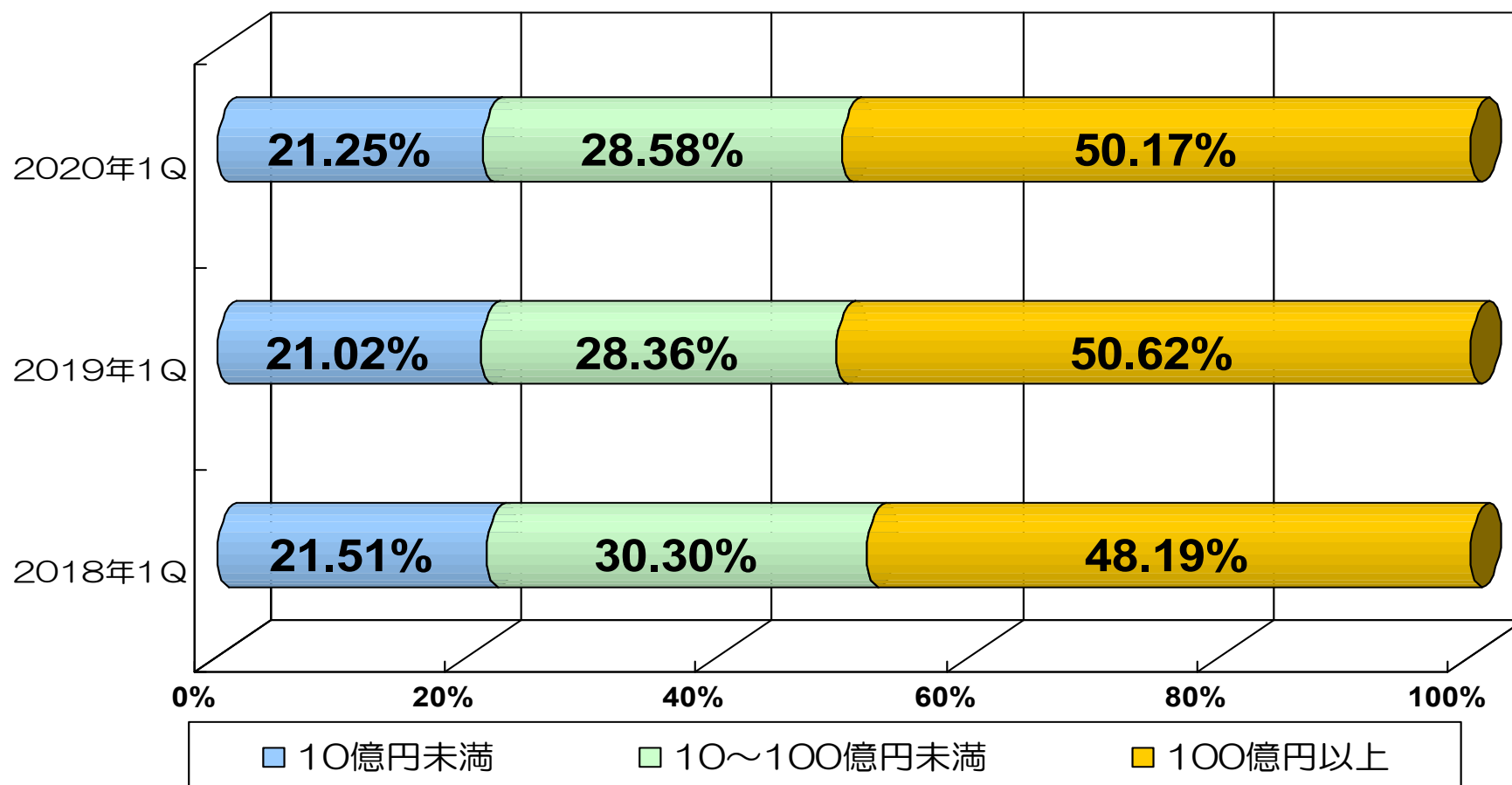
(単位：%)





単体

# 顧客企業の年商別売上構成

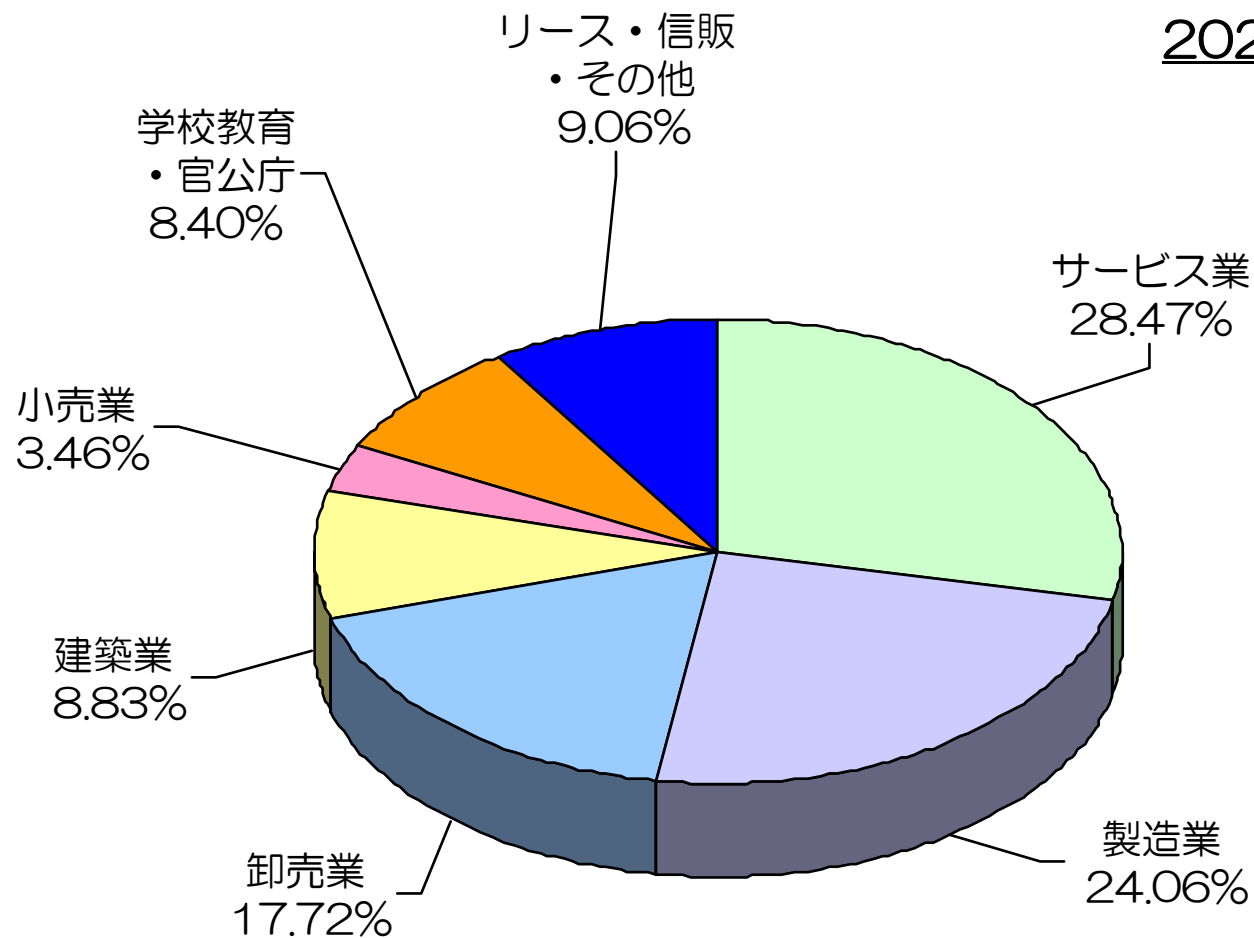


※10億円未満に、官公庁を含む

単体

# 顧客企業の業種別売上構成

2020年1Q



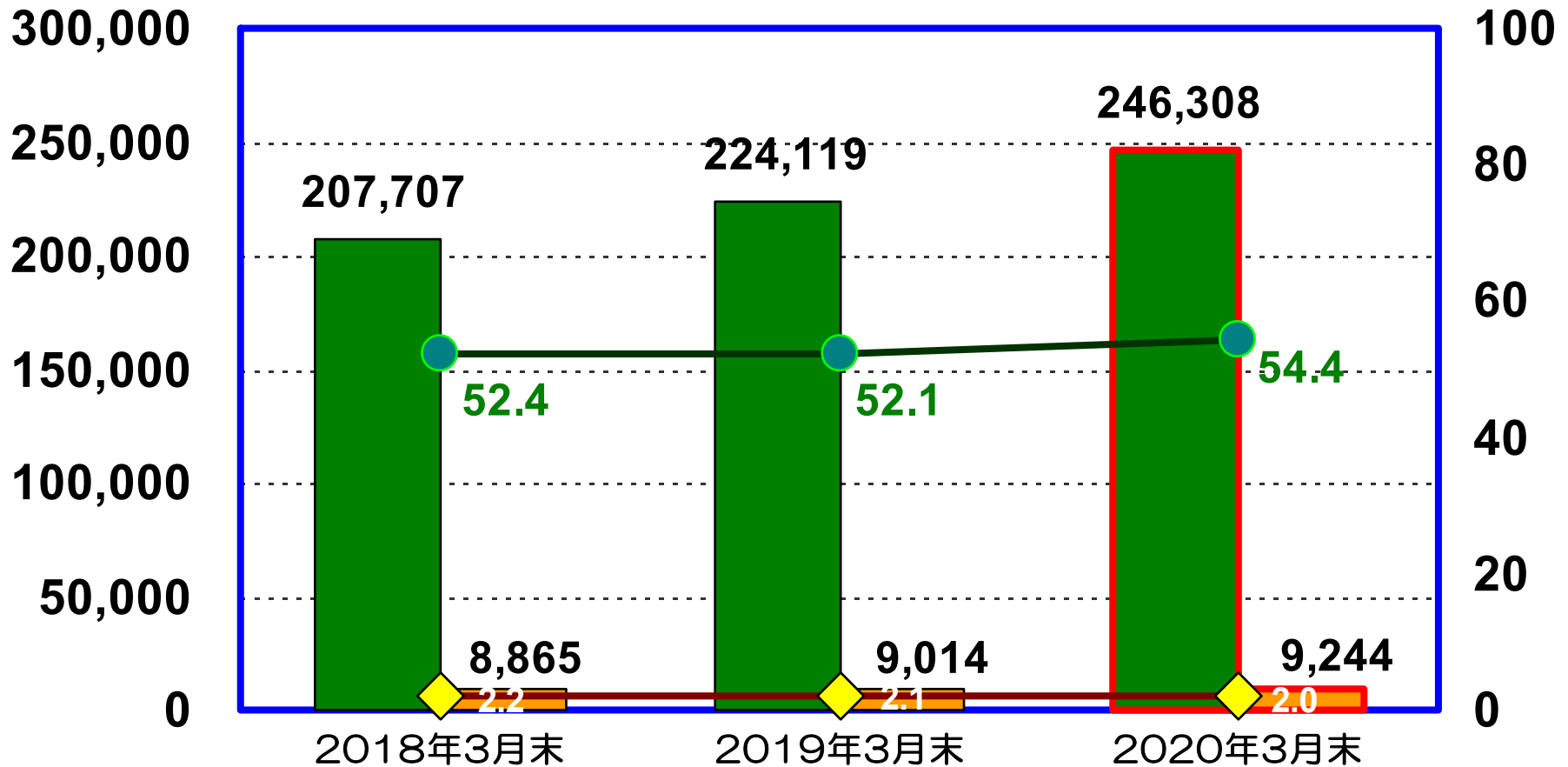
連結

# 自己資本と有利子負債

(単位：百万円)



(単位：%)



※2019年より「税効果会計に係る会計基準の一部改正」等を適用し、2018年に遡って適用しております。これにより、2018年3月末の自己資本比率、有利子負債比率を、遡及適用後の数値で表示しております。



# 重点戦略事業の状況

## < 売上高 >

(単位：百万円)

	2018年 1Q	2019年 1Q		2020年1Q		
	金額	金額	増減率	金額	増減額	増減率
たのめーる	40,350	41,509	+2.9%	<b>42,947</b>	<b>+1,437</b>	<b>+3.5%</b>
SMILE	2,664	2,706	+1.6%	<b>2,894</b>	<b>+187</b>	<b>+6.9%</b>
ODS	14,446	14,231	-1.5%	<b>13,670</b>	<b>-560</b>	<b>-3.9%</b>
OSM	17,860	18,530	+3.8%	<b>20,500</b>	<b>+1,969</b>	<b>+10.6%</b>

(ODS: Otsuka Document Solutions OSM: Otsuka Security Management)

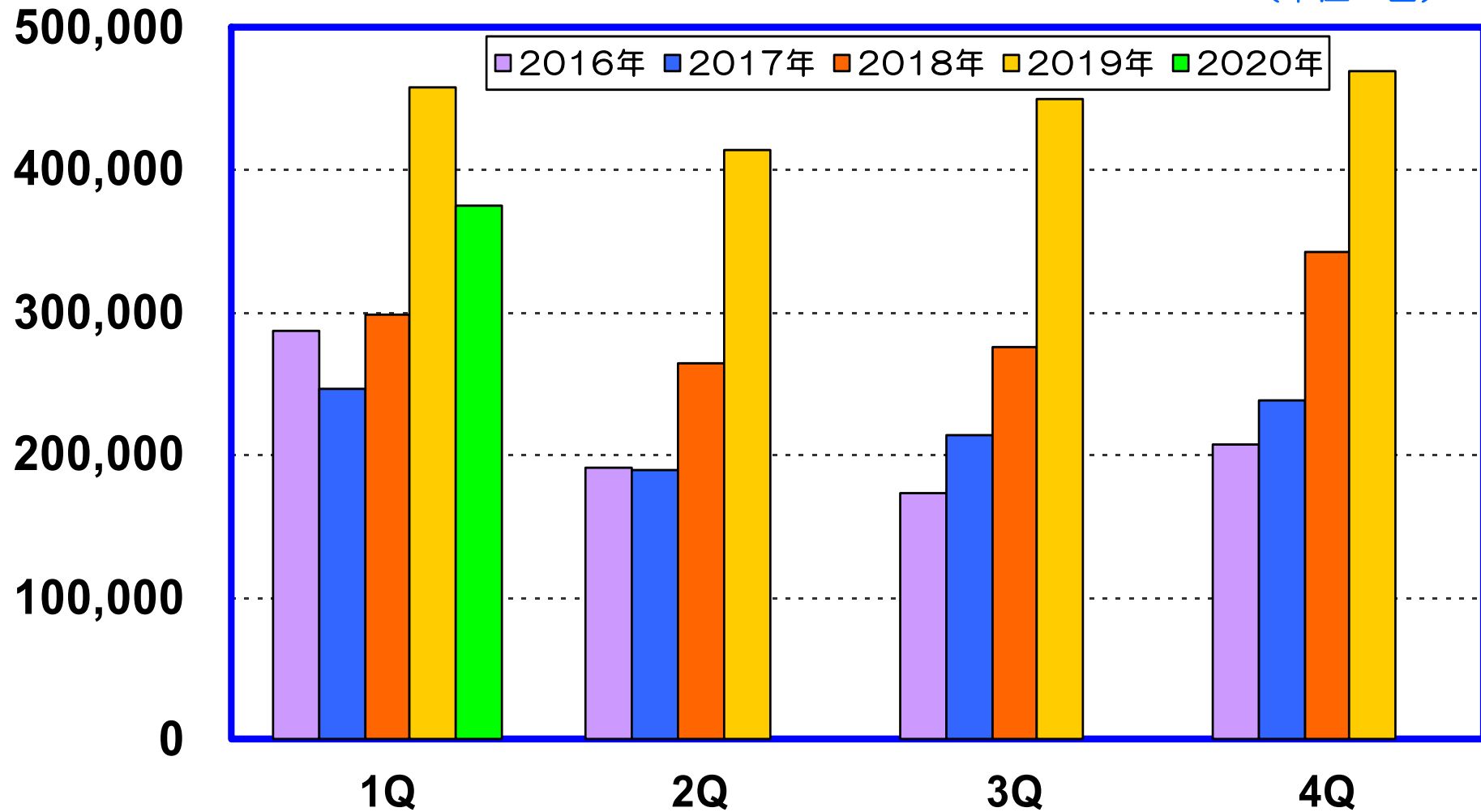
## < 参考：販売台数 >

(単位：台)

複写機	11,020	10,507	-4.7%	<b>9,486</b>	<b>-1,021</b>	<b>-9.7%</b>
(内カラー複写機)	10,659	10,203	-4.3%	<b>9,259</b>	<b>-944</b>	<b>-9.3%</b>
サーバー	8,681	8,254	-4.9%	<b>7,155</b>	<b>-1,099</b>	<b>-13.3%</b>
パソコン	298,409	458,136	+53.5%	<b>374,780</b>	<b>-83,356</b>	<b>-18.2%</b>
クライアント計	311,450	469,499	+50.7%	<b>385,596</b>	<b>-83,903</b>	<b>-17.9%</b>

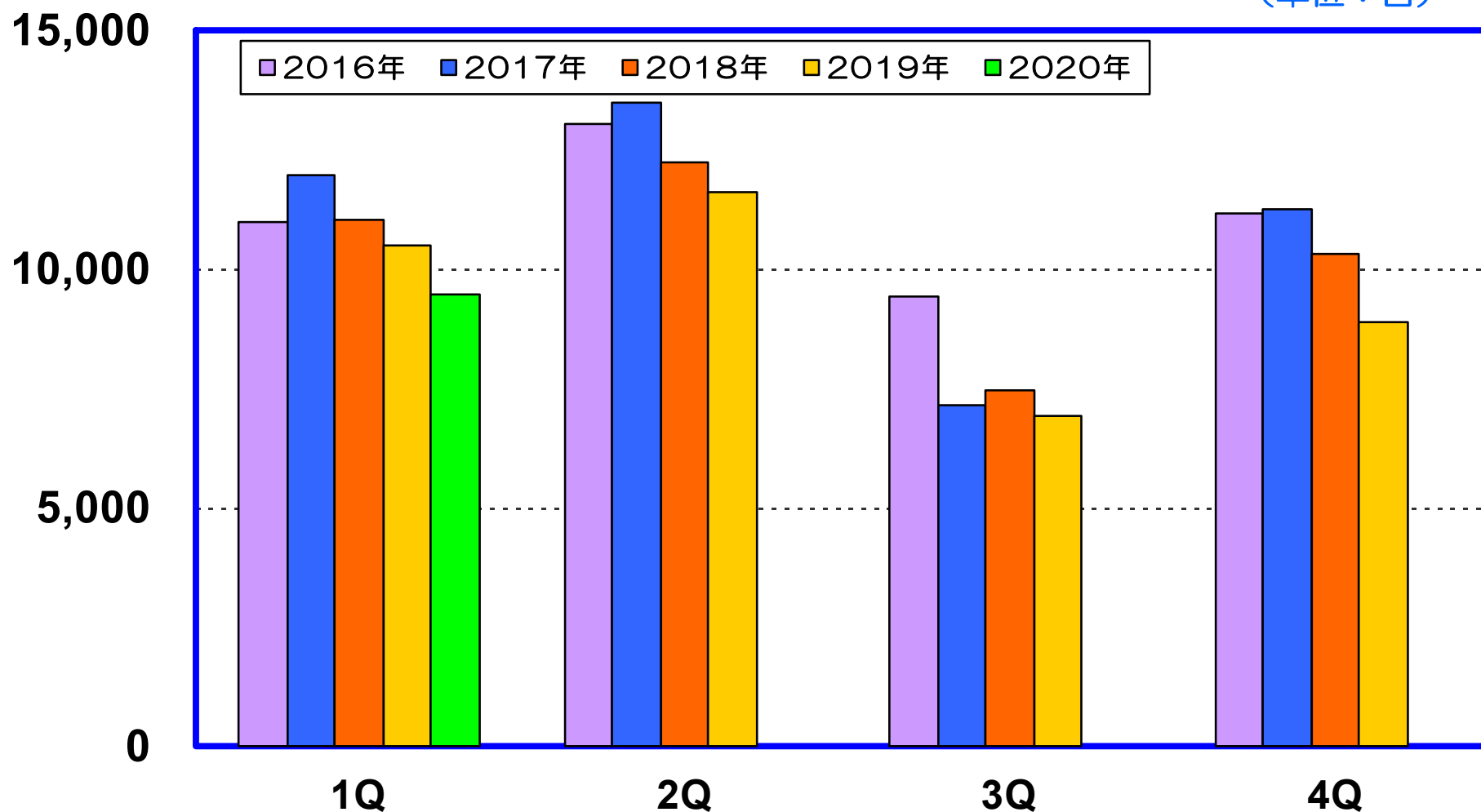
# パソコン販売台数の四半期推移

(単位：台)



# 複写機販売台数の四半期推移

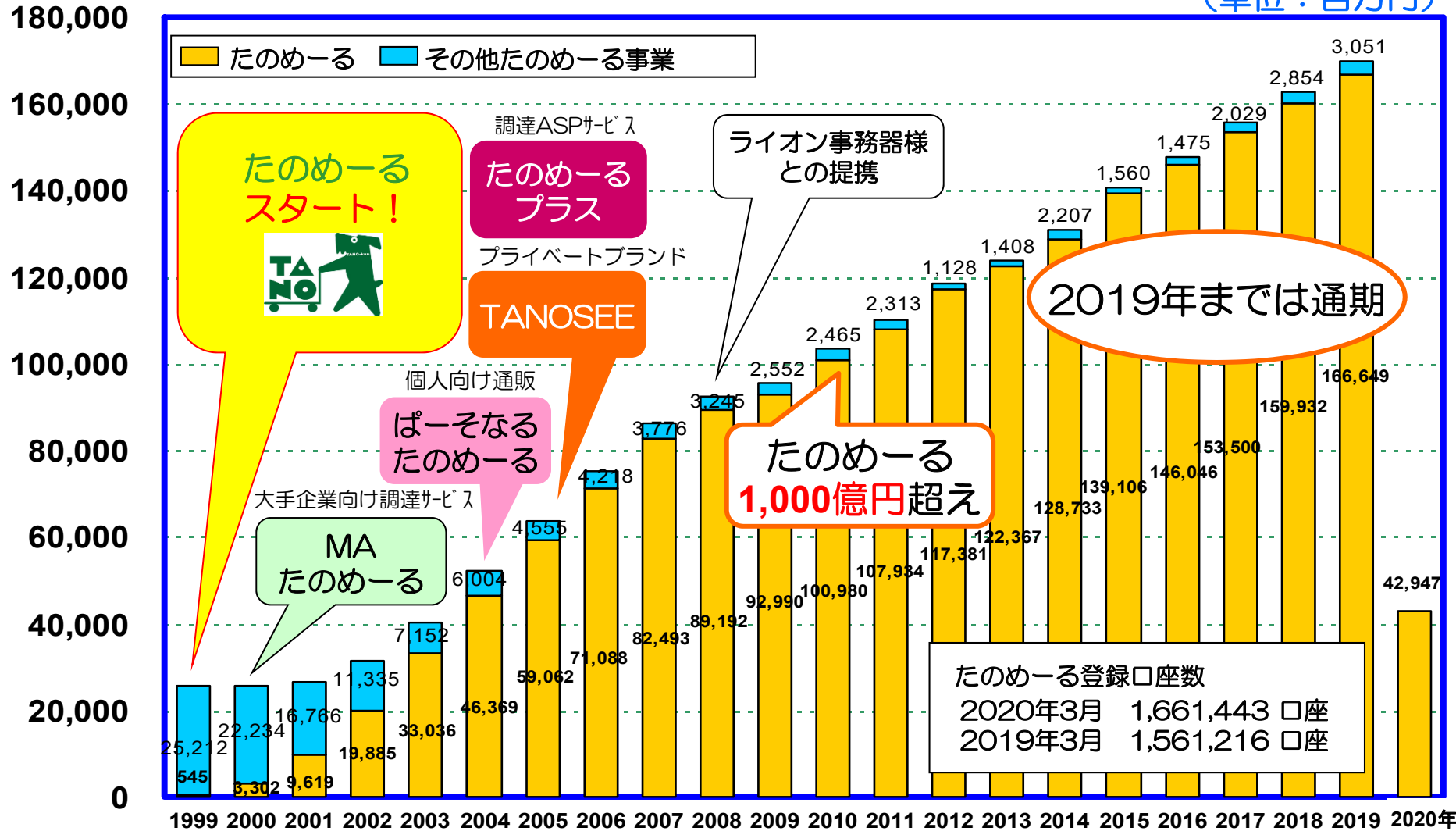
(単位：台)



単体

# たのめーる年次推移

(単位：百万円)

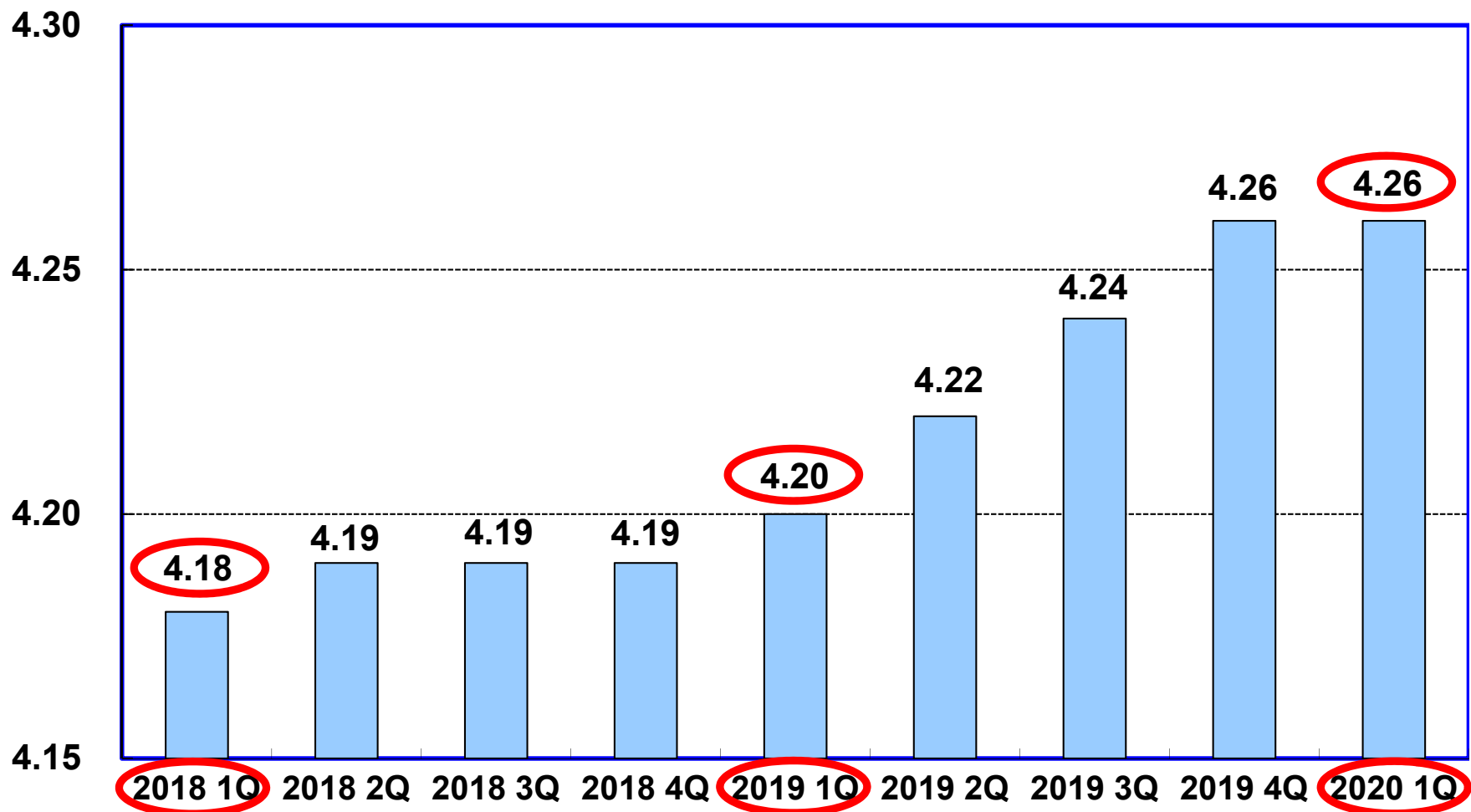


単体

# 1 企業当たり商材数推移

(単位：商材)

(複写機のお客様)





# 新型コロナウイルス感染拡大の 当社への影響

---

- イベント開催への影響

地域イベントの中止、セミナー等の自粛

- 商材の調達、供給面

- ＜ハードウェア商材＞

品薄気味ながら、メーカー様との連携、事前の確保で、  
影響は限定的だった。

- ＜サプライ商材＞

衛生用品、家庭紙の品薄が続いた。物流も一部で混乱。

なお、テレワークの影響で、オフィスのコピー（プリント）需要、紙需要の低下を見込み、今後の単月売上高への影響額は、現時点で約10億円程度のマイナス影響と予測。

# 新型コロナウイルス感染拡大を受けて、 お客様への対応

お客様目線での提案とサポートで、お困りごとを解決

- SPRデータからの One to One メール、Web会議（Teams、Zoom）、電話などを活用し、お客様との接点を拡大
- オンラインセミナーの活用
- テレワーク等、喫緊の課題へのソリューション
- 大戦略Ⅱの取り組み推進
  - AIによる営業活動支援（提案先、提案内容）
  - インサイドビジネスの推進

なお、備蓄用マスク約 11,000枚を、イベント会場で来場者へ提供しました。

# お客様のテレワークを支援

---

延べ 7万人のお客様に、

テレワーク関連のソリューションをご提供

- リモートデスクトップ、リモートアクセス系
- コミュニケーションツール系、通信系
- 社数では、5,000社超
- 3月1日 ~ 4月15日の間

セキュリティ、文書電子化、どこでもキャビネット等  
多様な商材で、ソリューション提案へ

**当社の存在意義 = お客様のお困りごとを解決**

# 社内での新型コロナウイルス対応の 取り組み ①

---

- テレワーク、在宅勤務の推進  
営業、サポートを含めた、テレワーク率 61.5%  
さらなる向上を目指します。
- 時差出勤の励行
- 会議、ミーティングの中止 と  
様々なコミュニケーションツールの活用  
(Teamsは、約8,000名の全就労者が利用可能)  
お客様との連絡・商談、社内連絡
- 全従業員へのマスク配布

# 社内での新型コロナウイルス対応の 取り組み ②（大戦略Ⅱ）

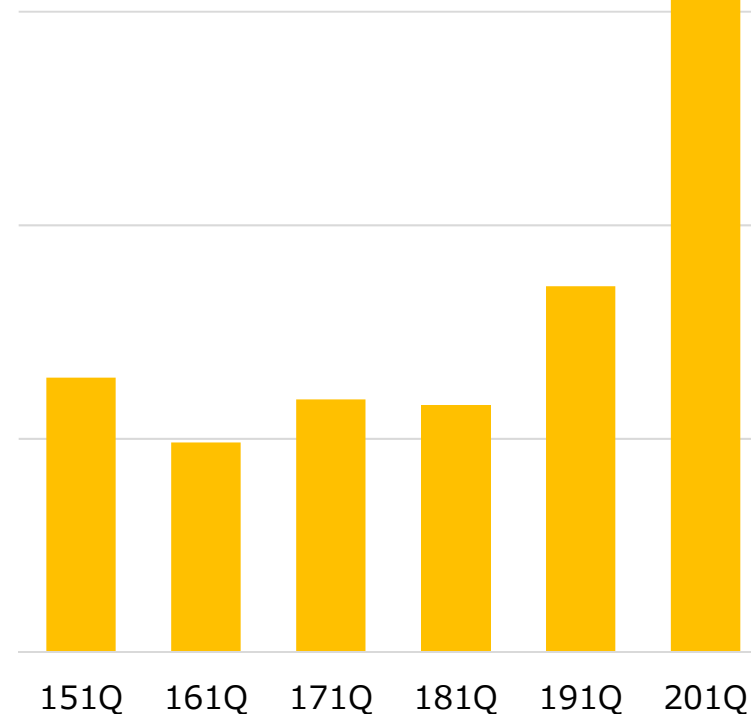
## 【AIの提案による営業活動】



## 【イサイドビジネスセンター】

センターでの接触、商談が増加

### 【口座獲得数】



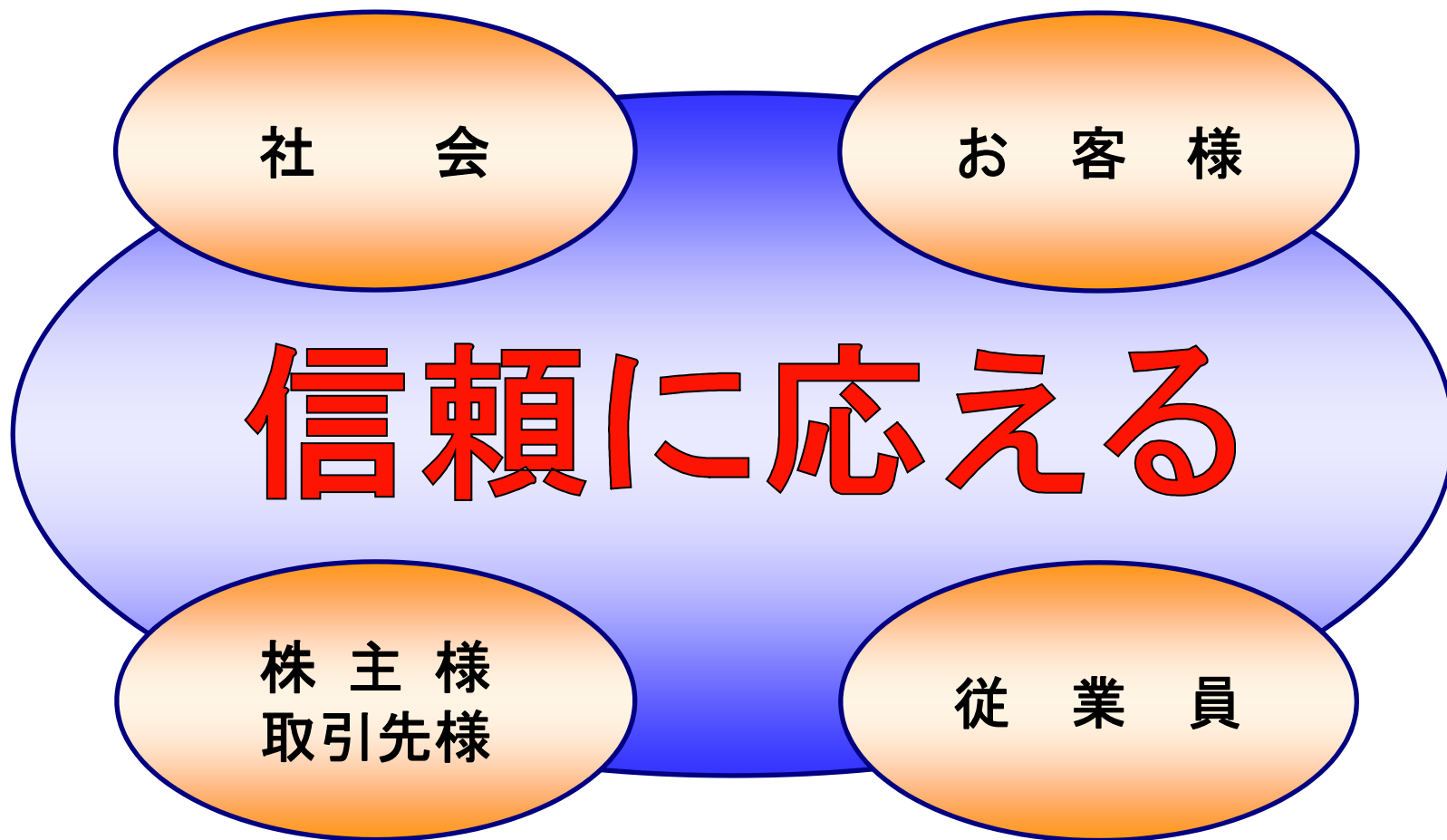
# 2020年12月期の計画

(単位：百万円)

	連 結		
	1Q 実績	1~6月 (計画)	通期 (計画)
売 上 高	224,329	<b>452,000</b>	<b>864,000</b>
営 業 利 益	16,147	<b>36,000</b>	<b>63,700</b>
経 常 利 益	16,484	<b>36,520</b>	<b>64,600</b>
純 利 益 ※ (※親会社株主に帰属する純利益)	10,882	<b>24,530</b>	<b>43,530</b>

現時点では、業績予想は据え置き。

4~6月期の状況を見極めながら、今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表。



# 本資料についてのご注意

---

1. 本資料は、2020年12月期第1四半期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本資料のなかで記述しております将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないためリスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測しえない経済状況の変化などさまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与えうる重要な要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供する製品やサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与えうる重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
3. 本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
4. 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。